

お知らせ

平成 17年 6月 1日

2005 斐伊川放水路 1000 年の森づくり 『植樹祭』 ～ 神話の国出雲から世界へ ～

1. 趣 旨

国土交通省出雲河川事務所では島根県東部地域の住民を洪水被害から守り、安全で安心できる社会基盤の構築を目指し、斐伊川・神戸川水系を一体的に整備する治水事業を実施しています。

斐伊川・神戸川の治水対策は、①両川の上流にダムを建設し、②中流部に放水路を建設し、③下流部の大橋川を改修する（この3つの事業を「3点セット」と呼んでいます。）ことで、両流域を洪水から守る計画となっています。

この「3点セット」の一つとして、出雲市で行われている「斐伊川放水路事業」は、全国の河川改修事業の中でも屈指の大規模な事業であり、斐伊川の洪水の一部を神戸川に分流し、宍道湖沿岸をはじめとする下流域を洪水から防御するとともに、現在の神戸川の川幅を拡げることにより、神戸川自体の治水安全度も大きく向上させるものです。

斐伊川と神戸川を結ぶ新しい河川となる区間は、現在の丘陵部を切り開いて造られるものです。この工事により、今まで山林であった場所を掘削するため、山肌があらわになった人工的なり面が新たに発生します。

そのため自然環境への配慮から、新たに発生した山肌を早期に復元・回復することが重要であると考えており、当事務所では平成12年度より出雲市内の中学生を中心に、新たに発生した山肌の自然環境を復元させる取り組みとして、「斐伊川放水路1000年の森づくり」と称して、毎年植樹祭を開催しています。この植樹祭も今年で6回目を迎えます。

この植樹に際しては、横浜国立大学 名誉教授 宮脇 昭博士により提唱された、土地本来の樹種（潜在自然植生種）を植樹することにより、短期間で在来の出雲の自然に融和した森林が形成されることを目指し、計画されたものです。

現在、斐伊川放水路事業は平成20年代前半の完成を目指して工事を進めておりますが、出来るだけ早い段階から植樹を行うことにより、事業の完成時には出雲の自然にとけ込んだ新しい森が形成されることを期待しています。

そのため、あすの出雲を担い継承していく地域の子ども達の力を借りて植樹を行っています。合わせて、地域の子ども達に地元で行われている地域の安全と安心を守るために大規模な放水路事業の現場を身近に感じていただくとともに、自然環境の大切さについて考えることのできる良い機会であると考えて開催するものです。

2. 開催日・開催場所

とき：平成17年6月7日（火） 11:00 ~ 12:00
ところ：出雲市上塩冶町地内（別紙参照）

3. 参加予定者

出雲市立塩冶小学校 4年生他 約170名
関係行政機関（国土交通省・島根県・出雲市）

4. 植栽樹種

タブノキ、アラカシ、スダジイ等 16種
本数：約 400本
面積：約 200m²

○ 問い合わせ先

国土交通省 出雲河川事務所

技術副所長	草 田 善 治	（くさだ よしはる）
事業対策官	有 津 智 弘	（ありつ ともひろ）
工事係長	小 谷 哲 也	（こたに てつや）
TEL 0853 - 21 - 1850		

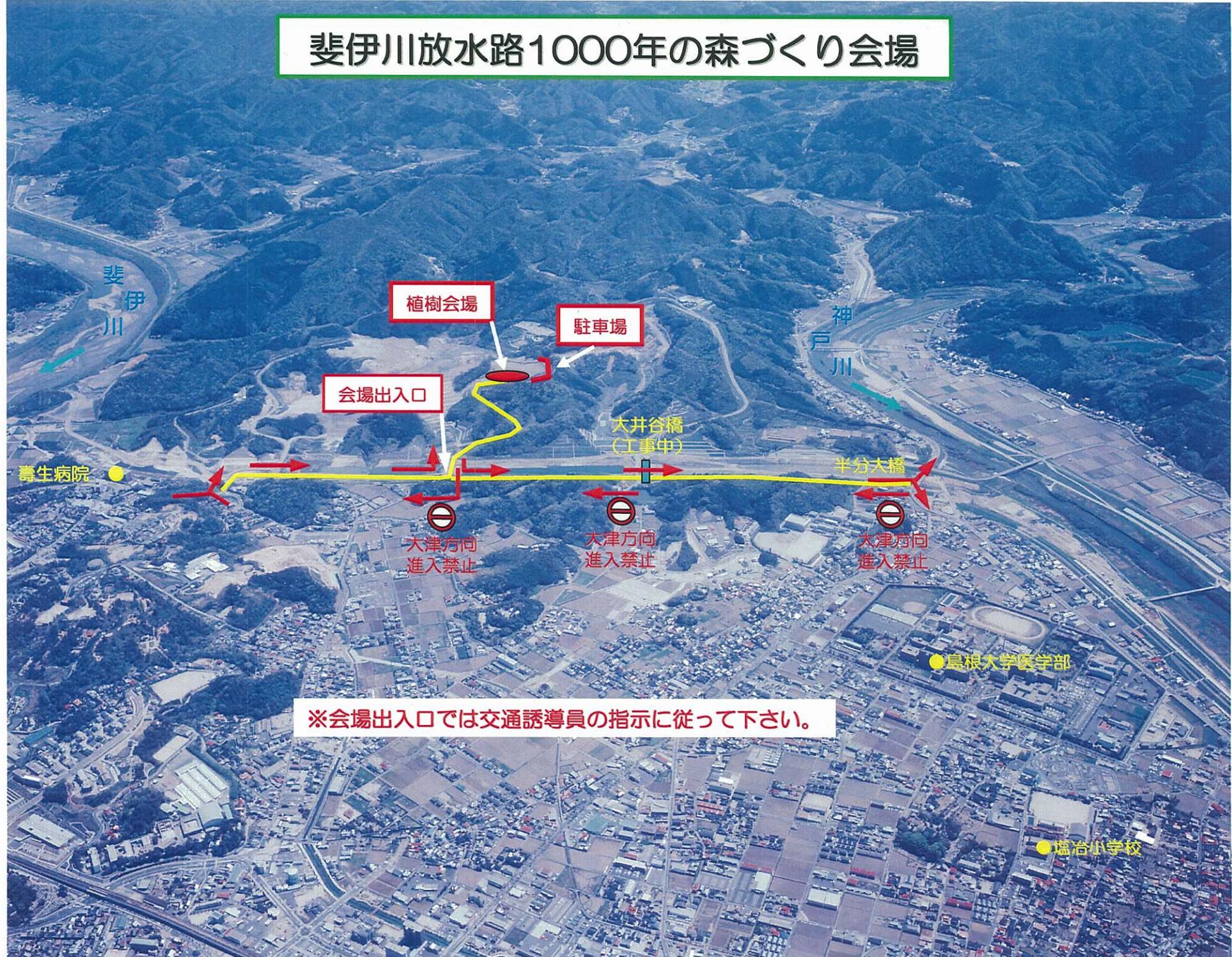
留意事項

- ※ 植樹会場入口には交通誘導員がいますので、ご来場の際にはその指示に従って下さい。
- ※ 小雨決行ですが、植樹祭開催の判断は当日午前8時に行います。お問い合わせは上記までお願いします。
- ※ 植樹会場に駐車場があります。特に駐車場所の指定はございませんので、誘導員の指示ににしたがい駐車をお願いします。
- ※ 議事の進行により、時間が前後する場合がございますのであらかじめご了承下さい。

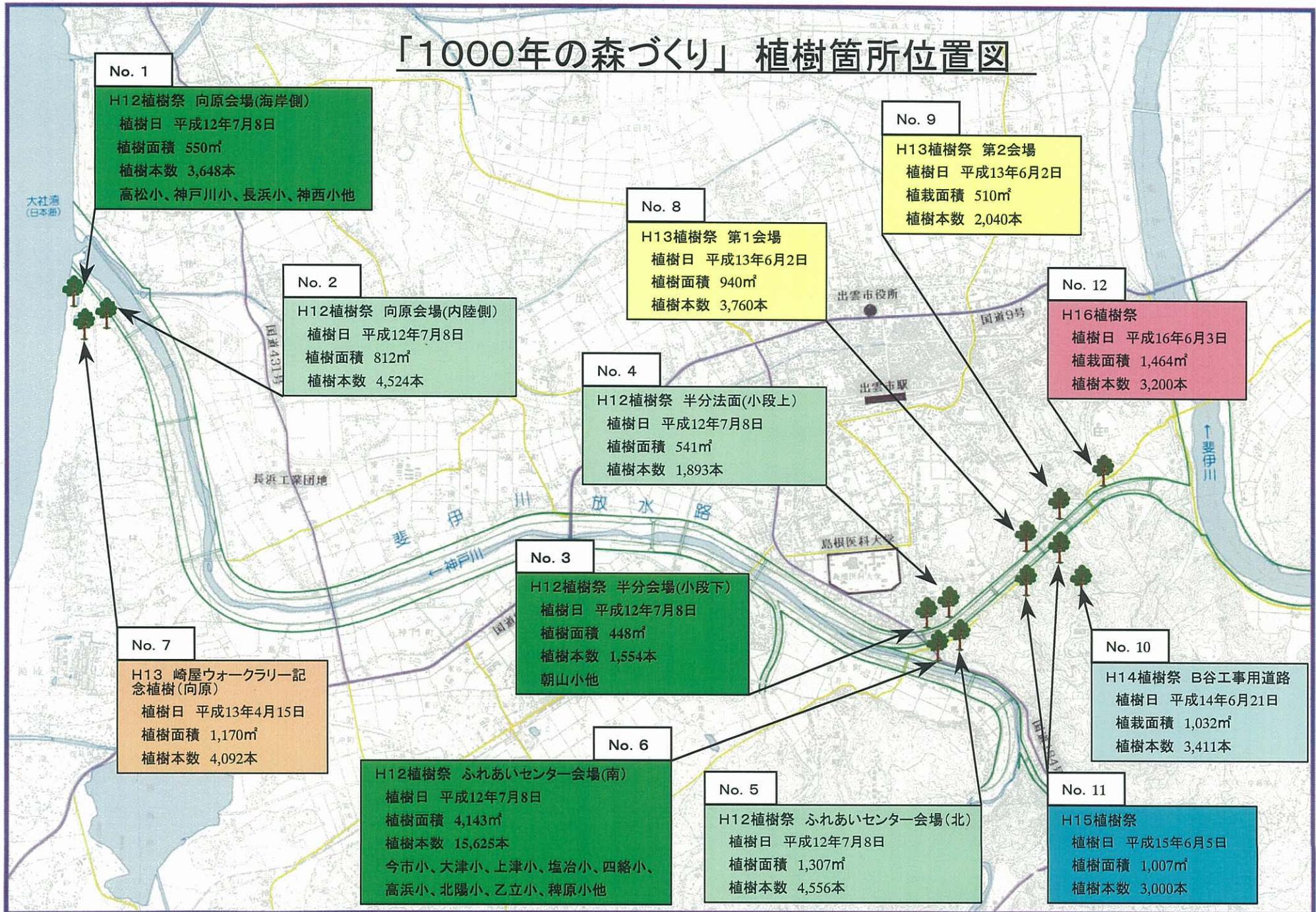
位置図



斐伊川放水路1000年の森づくり会場



「1000年の森づくり」植樹箇所位置図



2004 芙伊川放水路 1000年の森づくり植樹祭

